

地域における HIV 陽性者等支援のための映像教材

「地域における HIV 陽性者等支援のための研究」では、HIV 陽性者等への支援に携わる人たちの準備性を高めることを目的とし、映像教材を制作した。特に、支援者が医学的知識やその周辺分野の情報、陽性者の就労についての情報等を得ることにより、陽性者等への対応をより自信をもって行えるような支援ツールとなることを目指した。

A 映像教材概要

5分程度の映像クリップ（一部、図表等のフリップもあり）、および制作したクリップを用いた DVD によって構成される、支援者向けの、専門家へのインタビューを中心とした映像教材である。

B 制作内容

本年度は、以下の専門家のインタビュー撮影と、その映像素材を項目ごとの5分程度のクリップに編集する作業（必要に応じて、図表等のフリップを挿入）を行った。

医師…根岸昌功（ねぎし内科診療所）2009年11月17日撮影

看護師…大金美和（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター（ACC））2009年11月17日撮影

ソーシャルワーカー…岡本学（大阪医療センター医療相談室）2009年11月18日撮影

企業の人事担当者…某企業の人事担当者（匿名）2009年12月4日撮影

映像クリップの構成・内容（平成21年度現在）

医師：日本における HIV・エイズの現状／体の中で何が起きているのか／どこまで治療がで

きるのか／治療と生活／社会生活と仕事について／病気のイメージ／周囲（職場等）の陽性者への対応／様々な相談窓口や企業へ向けて



医師のインタビュー映像

看護師：国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター（ACC）におけるコーディネーターナースの役割／地域の支援者とコーディネーターナースの関わり方／通院と服薬の頻度／初めて来院した人へ／ACCと地域との連携／制度の利用について／支援者が HIV 陽性者本人の情報を得たい場合／企業の人事担当者へのアドバイス／支援者へのアドバイス



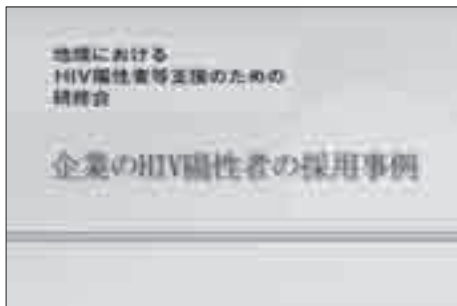
看護師のインタビュー映像

ソーシャルワーカー：ソーシャルワーカーの役割／ソーシャルワーカーへのアクセス／地域の支援者とソーシャルワーカーの関わり方／通院している陽性者はどんな人たちなのか／陽性者の方からいつどんなニーズが発生するのか／地域の支援者へのアドバイス



ソーシャルワーカーのインタビュー映像

企業の人事担当者：HIV 陽性者の採用実績／パニックが起きた時の人事の対応／面接から配属までのプロセス／二回目の勉強会と社員の反応／全社員へのフォローアップの仕方／ほかに社内で行ったこと／二つの採用を通してよかったと思うこと



C 利用実績

本年度の映像教材の利用（公開）実績として、医師による「HIV の医学的基礎知識」については、すでに以下の研修会で試写を行いつつ、内容の検討を重ねた。

2009年12月1・2・9・16日／東京都障害者職業センターの職員向けの研修会

2010年2月10日／東京都（行政関係）のHIV 陽性者等の支援者向け研修会

D 今後について

① 映像素材の拡充

セクシュアル・ヘルスと性の多様性について
HIV 陽性者と就労について
HIV 陽性者の生活実態について
などの撮影を計画している。

② DVD 教材の作成

次年度には、2年間で撮影してきた映像素材を整理した上で、研修会、自己学習など様々な場面で活用できる DVD 教材を制作し、支援者（主に行政関係）へ配布する予定である。

厚生労働科学研究費補助金
エイズ対策研究事業
地域におけるHIV陽性者等支援のための研究
平成21年度 総括・分担研究報告書

発行日 平成22年(2010)3月

発行者 研究代表者 生島 嗣

特定非営利活動法人ふれいす東京 研究事業部

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-22-46-204

TEL 03-3361-8964 FAX 03-3361-8835

URL <http://www.chiiki-shien.jp/>

E-mail kenkyu.jimu@gmail.com

表紙写真 長谷 良樹